

[2017年9月29日]

鉄建建設株式会社 広報部
〒101-8366 東京都千代田区三崎町 2-5-3
TEL:03-3221-2297 FAX:03-3221-29379

インド高速鉄道 研修センター軌道工事を受注

～インド高速鉄道関連初弾工事～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、三井住友建設株式会社、東急建設株式会社、株式会社フジタ、大成建設株式会社、清水建設株式会社と共同企業体を構成し、インド高速鉄道公社（National High Speed Rail Corporation Limited）発注のムンバイ～アーメダバード間高速鉄道工事研修センターでのスラブ軌道設計施工工事を受注しました。

■インドでは、近年の急速な経済成長に伴い、人やモノの輸送量が急増しています。このため、都市間の交通網整備の必要性が急速に高まってきており、整備の一環として、2015年12月の日印首脳会談においてインドにおける高速鉄道建設（ムンバイ・アーメダバード間）新幹線システムの採用が合意されました。これを受けて JICA 資金により 2016年3月からインド国内で初の高速鉄道走行に際して必要となる安全認証制度の整備、各種技術基準の策定、駅や駅周辺の開発計画等について設計が開始されました。

このたび受注した工事は、本体工事に付随して建設される研修センター候補地（インド国鉄鉄道アカデミー：グジャラート州バドーダラ）内に、本線と同じ構造のスラブ軌道実習線を建設するものです。概要は、スラブ軌道実習線 50m 複線の計 100mの設計と施工。工期は 2017年10月～2018年12月、金額は約 2 億円（契約日レート）です。

■9月14日に、高速鉄道全体の起工式（安倍、モディ両首相出席）がグジャラート州アーメダバードにおいて、スラブ軌道工事起工式も同日に現地グジャラート州バドーダラで執り行われました。



（写真は軌道工事起工式会場）

以上